

駒の館だより

明治国際医療大学図書館報

第33号

平成25年3月15日 発行

明治国際医療大学附属図書館

〒629-0392 京都府南丹市日吉町

TEL 0771-72-1181 (代)

目次

1. 巻頭随筆
『ようこそ図書館へ』 樋口敏宏
2. 自著を語る
『運動器疾患の治療 ―整形外科・現代鍼灸・伝統鍼灸―』 平澤泰介
『図解鍼灸療法技術ガイド - 鍼灸臨床の場で
必ず役立つ実践のすべて』 I・II 矢野忠
『実践にもとづく 骨折・脱臼の保存療法』 竹内義享
『磁気共鳴スペクトルの医学応用
―MRSの基礎から臨床まで [単行本]』 梅田雅宏
『運動器のエコー観察症例集』 川村茂
3. 私のお薦めの一冊
『肩 その機能と臨床』 竹内義享
『歴史の愉しみ方―忍者・合戦・幕末史に学ぶ―』 谷口博志
『神様のカルテ』 仲路子
4. 随筆
『魅せられる司馬遼太郎の描く人物像』 佐藤裕見子
『世界一の高齢者地域から妄想』 江川雅人
5. 図書館からのお知らせ

『ようこそ図書館へ』

附属図書館長 樋口敏宏

出来るだけ多くの人に図書館を利用していただきたいというのが、図書館の希望であり、目標です。学習、教育、研究のために書籍や雑誌の閲覧、資料の検索をするだけではなく、ただ読書を楽しむためにも図書館に来ていただきたいと思っています。図書館ではそのためには何が必要なのか、日々考えながら新しい試みを企画しています。どのような書籍を図書館にそろえるべきか、利用者の皆さんに役に立つ書籍は何かと考えながら行う選書作業が、何よりも重要であると考え、図書館担当者と図書館運営委員の先生方が作業にあたっています。また、たとえば、飲み物はペットボトルなどきちんと栓が出来て液体がこぼれないようにしていただくこと、コンピュータは音が周囲の人に迷惑にならないようにしていただくことなどを条件に、図書館へ持ち込んでいただいても良いことにする試験期間を開始しています。平成24年度は「おたんこナース」「ブラックジャック」「医龍」の3つの漫画シリーズも導入しましたので、勉強や研究の合間の気分転換に読んでもらえればと思います。今後、図書館学生スタッフ(Meiji Library Student Staff: MLSS)を募集し、利用者の目線からの企画や選書、図書館改善の活動を期待しています。このように、図書館で楽しく有意義な時間を過ごしていただけるようにこれからも工夫していきたいと考えています。是非、図書館へおいで下さい。長年にわたって蒐集した貴重な書籍や多くの新しい書籍、最新の知識を伝える雑誌などが皆さんをお迎えします。きっと、わくわくするような読書を体験していただけたらと思います。



『運動器疾患の治療 整形外科・現代鍼灸・伝統鍼灸』

平澤泰介・北出利勝 編集

(医歯薬出版 2012年6月出版 6,000円 ISBN:9784263242858)

医学教育研究センター

整形外科学ユニット 平澤泰介

医大を卒業して2年目にアメリカに留学したときのこと、ふと“日本の医療は人間の身体は一つなのに、どうして西洋医学と東洋医学との二つに分かれているのだろうか”と単純な疑問を持った。“両者が融合して、それぞれの欠点を補い合って、人間の健康と疾病に対するチームワークができれば、理想的な治療大系が確立されるのではないか”と考えた。本学に赴任したときに隣室の北出利勝先生にその疑問を持ちかけてみた。幸い意見が合って“エビデンスに基づく運動器疾患の治療”として成書にまとめてみようということになった。

それから、上梓までに約6年、編集会議は20回以上にも及ぶ困難な作業であった。鍼灸には、現代医学に基づくものと、伝統医学にその背景を持つものの、大きくは二つの流れがあり、この間の調整と、加えてさらに西洋医学と鍼灸の間の調整が必要であった。

本書は、部位別に頸部から足関節までの7章に、全身疾患として関節リウマチ等を加えた8章が主となる。各章では、鍼灸師がよくみる疾患別に、概念および整形外科による診断・治療の要点、現代鍼灸・伝統鍼灸による治療の実際を、順にわかりやすく簡潔に記載した。さらに9章で、患者を中心に考える新しい医療、統合医療への現状と期待をまとめている。今後、西洋医学と鍼灸を含む伝統医学の統合により、新しい医療が生まれてくることであろう。その中心になって明治国際医療大学が活躍することが望まれる。なお、付章に鍼灸の基礎知識を加え、整形外科のドクターにも理解ができるよう心がけた。

B5判約250頁ではあるが、本学の運動器疾患に関わる医師・鍼灸師の英知が結集されたものである。医療は言うに及ばず、現代、新たなパラダイムの模索が続いている。本書もその一つの萌芽であり、大きく育てて行くことを望みたい。

『図解鍼灸療法技術ガイド-鍼灸臨床の場で必ず役立つ実践のすべて』I・II



編集主幹 矢野忠

『図解鍼灸療法技術ガイド』I 932頁 II ISBN 978-4-8306-4388-0

『図解鍼灸療法技術ガイド』II 1042頁 II ISBN 978-4-8306-4389-7 文光堂

健康・予防鍼灸学ユニット 矢野忠

本書は平成24年6月3日に文光堂から刊行された鍼灸臨床の実用書である。本書はIとIIから構成されている。

Iは鍼灸臨床の基礎編に相当するもので、刺鍼技術・施灸技術に関する内容、鍼灸の治効作用、鍼灸臨床に併用する物理療法・運動療法、筋肉や末梢神経などの特定部位への刺鍼技術、診察法の基本と評価法、東洋医学的な診察法と治療方針、現代医学的な診察法・検査・測定と治療方針から構成されており、鍼灸臨床で遭遇するすべての疾患・症状の病態について診察と評価、そして治療方針を立てることができるよう丁寧に解説されている。

IIは症状別鍼灸臨床の実際と疾患別鍼灸臨床の実際から構成されており、Iの内容を受けて鍼灸臨床で遭遇するすべての疾患・症状の病態の理解と具体的な診察に基づいて治療ができるように詳細に解説されている。特に現代医学的な病態把握とそれに基づいた治療と東洋医学的な病態把握とそれに基づいた治療の双方の観点からの解説は、他に類をみないものであり、日本鍼灸の多様性をそのまま活かした内容となっている。しかも臨床例を挙げて鍼灸治療の方法と効果を示してある点もEBMとしての鍼灸臨床の力強さを示している。

本書は、鍼灸学の学術・臨床分野で活躍する54名の執筆者の手によるもので、それぞれの専門とする項目を担当しているところに特色がある。すなわち、現在の日本を代表する執筆陣による鍼灸臨床の専門書ということである。また、図解を書名としているように、多くの図が掲載されていることから、一段と分かりやすくなっており、臨床に即利用することができることも特色の一つである。特にIの特定部位への刺鍼手技は、フルカラーの解剖図による具体的な解説は、本書の圧巻である。

本書は、鍼灸臨床を行う上で何が必要か、何があれば便利か、を問い続けた中でコンテンツが設定され編集されたことから、実地臨床に就く鍼灸師の目線に立った実用書となっている。従って、本書は、臨床に就いている鍼灸師のためだけのものではなく、鍼灸を学ぶ学生、教員養成科の学生にも良質な教科書であり、また教員にとってもは鍼灸臨床の専門書として教育に利用できる内容になっている。本書を手にした方は、きっと鍼灸臨床の座右の書として、臨床の友として使用していただけるものと執筆者の一人として確信している。



「実践にもとづく 骨折・脱臼の保存療法」

竹内義享(明治国際医療大学) 堺研二(堺整形外科医院)
西川順三(堺整形外科医院) 上村英紀(明治国際医療大学) 著

2012年6月16日 296ページ

臨床柔道整復学Ⅰ講座 竹内義享 記

近年、骨折治療に関する著書の多くは観血療法を扱ったものであり、保存療法(いわゆる、手術をおこなわない)を正面から取り上げたものは少ないといえます(論文では散見)。骨折に対する保存療法は古くて現代医学に適用しにくいと判断され、非科学的な治療法として葬り去られるのでしょうか。臨床上、実施されにくい理由として、①皮膚の上から骨折部を整復することは極めて難しい ②想像下で整復操作をおこなう行為は非科学的で野蛮的である ③整復後の固定が難しい(転位をきたしやすい) ④固定後の経過観察・管理に十分な時間がとれない ⑤固定後のADL制限(荷重制限など)が必要 ⑥診療報酬上のメリットが極めて少ない(点数が低い)などが挙げられます。ただ、ガイドライン上では、観血療法のデメリットを示す中で絶対的優位にあるとの結論はなく、ケースによっては保存療法の優位性が謳われております。ちなみに保存療法のメリットとして、①皮膚を開けないために血腫温存によって骨癒合に有利となる ②感染リスクがない ③適度の固定力と固定肢位は骨折部にメカニカルストレスをもたらす骨癒合に有利である ④安価である、などが挙げられます。

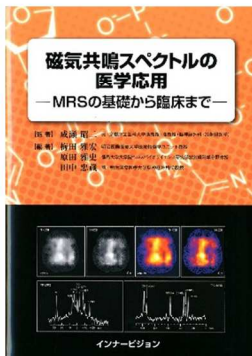
今回、堺整形外科医院(福岡県)では開院以来、骨折に対して保存療法を優先させており、その間に得られた膨大な症例と多くの成功例は決して偶然な結果ではなく科学的視点から見ても合理的であると判断できました。早速に膨大な資料を基に堺正孝院長、堺研二理事長、中上晃一診療放射線技師らの全面のご協力を頂きながら約5年間の歳月をかけて校正をおこないようやく集大成させたものが本書であります。保存療法をビジュアルに説いた極めて希有な書として一読いただければ幸いです。

「磁気共鳴スペクトルの医学応用－MRSの基礎から臨床まで [単行本]」

著者:成瀬昭二、梅田雅宏、原田雅史、田中忠蔵

出版社: インナービジョン (2012/04 出版)

(ISBN-10: 4902131226、・ ISBN-13: 978-4902131222)



医療情報学ユニット 梅田雅宏

現在病院で人体の断層撮影に利用されているMRIという装置は、核磁気共鳴現象(nuclear magnetic resonance:NMR)を用いて、原子核が持つスピンという性質を調べるために作られた装置が発展したものです。この現象は、磁場の中に物質を置いて電波を与えると、原子核の重さやスピンの特徴づけられた特定の周波数の電波を吸収・放出するものです。

装置を改良し性能が上がると、この吸収ピークに構造があり、複数に分裂していることが発見され、そのピークの分裂が分子構造と関係があることが分かりました。こうしてNMRは分子構造を調べる装置として利用され発展し、その研究はノーベル賞へと繋がりました。一方、NMRは非破壊で、生体に含まれる低分子を調べることができるのが特徴です。MRI(NMR imaging)と同様にNMRスペクトロスコピーはMRSと略され、世界中で多くの研究者がMRSを利用した生体中の代謝物質と病態との関連についての研究に取り組み、その幾つかは臨床診断にも利用されるようになりました。本書は、MRSの基礎研究者や、MRSを用いて臨床診断を行っている国内最前線の臨床医が著作に参加した、基礎から臨床までのMRS研究に必要な事柄を網羅した国内では唯一の本です。MRSの研究や診断への利用を始める方への導入の本として必携の書として出版されました。MRSによる生体の代謝物質の研究はまだ発展途上にあります。現在、臨床用MRIとして利用されているよりもさらに高磁場のMRIが国内にも導入され、MRSの研究も一段と進むと考えられます。これからのMRSの研究動向を知ることができる唯一の本です。新しい医学MR研究にご興味があれば是非一読いただければと思います。

自著を語る



『運動器のエコー観察症例集』 中村辰三、増田雅保、川村 茂

医歯薬出版株式会社 総ページ数 153 ページ

ISBN 978-4-263-24286-5

基礎柔道整復学ユニットI 川村 茂

超音波診断装置 (Ultrasonic Diagnostic Equipment 以下、US 装置) を使用した観察法は、柔道整復師に唯一容認されている生体内を客観的に画像描出可能な手段です。他の検査機器と比較した US 装置の特徴には、非侵襲であること、簡便に使用できること、さらに筋・軟部組織の状態が明瞭に描出できることなどがあげられます。接骨院では、患者さんが来院した時点から病態経過を頻回かつスピーディーに観察・評価し、その変化に応じた治療法の選択が求められます。US 装置の特徴は、柔道整復師の業務に対し非常に有用性の高いものですが、プローブ走査 (= スキャン) に慣れが必要であったり、局所解剖と照らし合わせて画像をイメージできる能力が必要であったりと、使いこなすのが困難な面もあります。また、異常所見が超音波観察においてどのように描出されるのかも理解しなくてはなりません。こういった難点をわかりやすく解説したのが本書であります。

本書は、柔道整復領域で遭遇する運動器傷害の超音波画像を、健全な超音波画像と比較しながら丁寧に説明し、運動器超音波観察法を効率よく修得できる構成になっています。さらに、上肢、肘部、手部、下肢、膝部、下腿部、足部、体幹に分け、運動器の超音波観察症例を描出ノウハウを交えながら観覧・学習できます。大型本で図のスペースが大きく、US 装置も最新機器を使用しており画質が良いのも魅力です。これから US 装置を臨床現場に導入し始める方だけではなく、経験の豊富な臨床家の方々にも満足していただける内容だと確信しております。

私のお薦めの一冊



『肩 その機能と臨床』 信原克哉著 (医学書院)

ISBN 978-4-260-01676-6

臨床柔道整復学 I 講座 竹内 義 享 記

“肩 その機能と臨床 第 4 版”をお薦めいたします。

私がこの書の内容をご紹介すること自体無理であり、或いは著者の意向を十分に汲む能力を持ち合わせていない私が勝手にご紹介させていただくことは著者に失礼であることを承知の上で、是非とも皆さんに伝えたい肩関節における“稀有の書”という意味から本書をご紹介させていただきます。

信原先生は生涯を通じて“肩関節”に強い興味をもたれており、私が PT としてお世話になった期間中先生のご講演を何度となくお聞きしましたが常にショックを受けたものです。極めて難しいテーマについて理路整然と手取るように分かりやすく解説、先生の手には常に肩関節の人骨が握られておりました。これがまさに 30 年以上前の出来事であって、現在、私が機能解剖学に興味を持ち、その意義を学生に問う目的はこの瞬間につくられたと思っております。それ以後も現在に至るまで信原先生は肩一筋に臨床・研究・講演を第一線で継続されご活躍されておられます。“肩 その機能と臨床”は 1979 年 10 月に第 1 版第 1 刷を上梓され、その後多数の版を重ねながら 2012 年 10 月に第 4 版第 1 刷を集大成として上梓されたものと思っております。その間 2003 年、The Shoulder – Its Function and Clinical Aspects が World Scientific Publishing Co. Pte. Ltd. から出版され、2004 年に英国医学会から名誉ある Highly Commended Orthopaedics を受賞されております。今回、ご推薦の書は 500 ページ強の厚さ 30mm を超える重厚感のあるものであり、外観もさることながら膨大な資料に裏付けされた意義深い内容に多くのカラー・白黒写真を織り混ぜ、本書の目的を十二分に果たした完璧な内容となっております。今回、内容のご紹介ではなく上梓に至る過程をお示することで本書の重みをご理解いただきたく、ご推薦を決意した次第であります。

私のお薦めの一冊



『歴史の愉しみ方—忍者・合戦・幕末史に学ぶ—』

著者：磯田道史(中公新書) ページ数：205

ISBN:978-4-12-102189-2

基礎鍼灸学ユニット 谷口博志

学生の頃は必要不必要を考える間もなく、ただ目の前にあるものをこなすことが勉強であったように思う。専門的な知識を学ぶようになって大差はなく、行き着くところは資格のための勉強にすぎなかった。これまでに学んできたものの重要性は、社会人となり臨床や研究を日々繰り返すようになって初めて実感できるものであった。そして最近では勉強することの意味を臚げながら理解できるようになり、こなすだけだった勉強に勿体無さを感じるようになった。

ただ、勿体無いとは感じつつも、やはり面白くないものは勉強したくないのが本音である。では、勉強が少しでも面白いと思えるようになるにはどうすればよいのだろうか。そのヒントはこの世に存在する様々な本の中に隠れていて、例え苦手な分野であっても、その価値観をガラッと変えてしまうものである。

そこで今回、歴史嫌いの方に是非紹介したいのは『歴史の愉しみ方』という書籍である。本書の著者は現役の大学准教授であり、歴史の専門家である。また、本の表紙は見るからに小難しい印象を受ける。さらに、歴史は勉強の中で一位二位を争う暗記ものの代表格であり、苦手な方も多いと思われる。題名もさることながら、この本が勉強の面白さに繋がるには到底想像できないが、実際にこの本を手にとると歴史に対する価値観を変えるには十分過ぎる程興味深く、そして面白い。忍者の実像から始まり、ちょんまげの意味、幕末の西洋医や坂本龍馬の暗殺といった歴史上のふとした疑問に対して回答をくれ、歴史を勉強する楽しさを教えてくれる。それだけでなく、日本における震災の歴史を発掘し、現代社会に対する警鐘を鳴らし、歴史を学ぶ重要性を教えてくれる。これまで面白くないと思っていた分野の勉強に対する価値観を一掃してくれる一冊である。

勉強に対する考え方を少し変えるために、本推薦図書を一読されてみてはどうだろうか。



『神様のカルテ』

夏川 草介 著 (小学館)

ISBN-978-4-09-386259-2

基礎看護学ユニット 仲口路子

臨床医療系に学び、その実践を行おうとする者は、必然的に多くの人々の苦しみの場面に出くわさざるを得ないだろう。そしてその「立会い」に困難を感じる原因には、一方では自らの、同じ人間としての「感情」の取り扱いであり、また他方「何が正しいか？」という複雑な問いがある。高度な医療技術の進歩と人々のニーズの多様化、そして突きつけられる医療経済の問題・・・。「人が生きるってどういうことなんだろう・・・」という、それまでも自らの経験からなんとなく漠然と、あるいは真剣に考えてみた者も、今一度その問いの深さに震撼する時が来る。そういったときに、ひとりの医療人としての判断を導く、そこに依拠すべき学問は、心理学や危機理論や危機モデル、あるいは感情社会学であったり、政治学、経済学、倫理学、哲学、といっても、これまた細分化されているのでさらに厚生経済学や医療倫理学などといった「専門書」を「理解しながら読む」ことが求められよう。そして所謂リベラル・アーツ(人間、文化、情報、環境、社会等)が重要とされる所以がここにある。しかし「実際にはなかなか困難」である。

以上の観点から、今回ご紹介したい「読みやすい本」は医師である筆者による、地域医療の現場を舞台に繰り広げられるさまざまな問題を、とても味わい深い文章で綴った小説である。医療の現場をモチーフに書かれた小説は多数あるけれども、本書は、主人公の医師が夏目漱石を敬愛し、「学童期から『草枕』を愛読し、全文ことごとく暗誦するほど反読している」という設定により「寂寥」「隘路」「跳梁」「浅慮を省みる」「誰何する」「杞憂」「瑣事」等々・・・、普段あまり耳にしない言葉がたくさん出てくるところが本書のミソである。語彙を増やすには国語辞典を読んだり、また近代文学の名著を読むことが薦められようが、そこを、医療の現場を学び考えつつ、国語力もつけようということで、結局どっちつかずに陥る可能性も無きにしも非ず、「映画の『神様のカルテ』の櫻井翔カッコ良かった！」で終わるやもしれないが、ひとつ、お勧めとしておこう。

『 魅せられる司馬遼太郎の描く人物像 』

地域看護学ユニット 佐藤 裕見子

多くの人が魅了されロングセラーとなっている歴史小説の生みの親である司馬遼太郎は有名である。NHKの大河ドラマの原作となった作品が数多くある。いまだに捨てきれずに我が家の本棚に並ぶ「竜馬がゆく」「翔ぶが如く」「燃えよ剣」などは、数十年前に読書のとりことなり読みあきった古本である。それらの小説に魅了された一人として、学生の皆さんにもその魅力を伝えたいと思う。司馬遼太郎の小説の主人公は、生の姿がユーモラスに描写され人間味あふれる人物として好意的に描かれている。また歴史の対局と重ね合わせて叙述しているので、読者の興味と共感を呼び、一気に読み進むことが多い。日本の幕末から明治にかけての歴史の登場人物をこれほどわかりやすく肯定的に描き私たちに伝えることで、日本人としての自信と誇りを持たせてくれる書ではないかと考える。中でも一番におすすめしたい本は「竜馬がゆく」全8巻である。

新しい国づくりのために命をかけて明治維新という革命を成し遂げた若い同志たちの人物像を描いている。読書嫌いであった私の息子たちにとっても、高校から大学時代にかけての愛読の書であつたらしく、本棚から消えることがたびたびあった。時代を翔け抜けた坂本龍馬や高杉晋作などの生き方は、思い悩みながら今を生きる皆さんにとって、何かをつかみ勇気づけられる贈り物となるのではないかと考える。

“もっと早く出会いたかった”と思える書かもしれない。
「古本屋」に行けば、一冊105円で手に入るはず！ 勉学の合間には是非読んでみてほしい。

『 世界一の高齢者地域から妄想 』

加齢鍼灸学ユニット 江川 正人

先日、民放が制作した「人間とは何か」という番組で、現在、長寿世界一の木村次郎右衛門さん(115歳!)が住む京都府京丹後市が紹介された。番組では当地域の100歳以上の高齢者を対象に、採血による遺伝子検査を実施し、近年注目の長寿遺伝子サーチュインが発現していることが判明し、日本抗加齢医学会副理事長の教授も驚きの声を挙げていた。また、東京から有名なアナウンサーがこの町の100歳以上の高齢者を訪れインタビューを行い、長寿遺伝子発現の原因を彼らの生活習慣から探っていた。その結果、センテナリアンの共通意見は、「適度な運動を心がける」と「腹八分目の食事量を守る」ことであった。この2つが番組の到達点になって番組は終了した。

「運動習慣」「腹八分目」でしたか。この2つが健康に重要なことは、私自身も先達から伝えられ、継続した実践が難しいこともよく承知している。しかし、100歳以上の長寿にこの2つだけが結果として放送されたことには、物足りなさを感じてしまった。京丹後市に限らず「運動習慣」と「腹八分目」を口にする高齢者は多い。思えば、京丹後市は海沿いに町が広がり、強い風と厳冬が印象的である。決して温暖な身体に優しい気候風土とは感じられない。地域の食事は塩分も高く、高血圧症などの循環器疾患も多いのではないだろうか。交通機関が発達していないので「歩く機会が多い」「魚を食べる習慣があつてDHAやEPAを…」というのも、京丹後市だけの状況ではない。魚食を常とする不便な海辺の町は京丹後市だけのものではない。私の故郷、福井にもいくらでもある。なのに、何故、京丹後市が長寿地域になったのか？

やはり鍼灸治療ではないだろうか。

明治鍼灸短期大学の時代から今の京丹後市には「丹後実習」として月に1-2回、鍼灸治療実習に訪れている。丹後実習時に、無料で(現在は1回200円で)行った鍼灸治療は、地域の方々の健康増進を担っているのではないだろうか。加齢に伴う様々な症状を緩和し、病気の発症や進行を抑制する。また、治療の場を通してコミュニケーションも弾むとすれば、健康寿命の延長に鍼灸治療が寄与している可能性は高いはずだ。そうであってほしいと願い、そのことを証明できる研究をしなればと思う。

図書館からのお知らせ

平成 24 年度から、新着図書にマンガを一部導入いたしました。
リクエストがあれば、図書の選定申込書にて申請して下さい。

平成 23 年度の収書・蔵書状況

	収書冊数	蔵書冊数
一般図書	1,07(39)	53,358(10,010)
点字図書	0(0)	1,404(0)
製本雑誌	450(156)	15,002(7,406)
視聴覚資料	58(0)	2,466(123)
合計	1,583(159)	72,230(17,539)

	雑誌/外数
学術雑誌	155(52)
一般雑誌	3(0)
合計	158(52)

()内は外国書で内数

平成 23 年度 図書利用状況

1) 図書貸出件数

各学部合算 (延べ人数)

	区分	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	大学院	その他	教職員	小計
		H	冊数	450	663	548	1,216	647	82
23 年 度	%	10.5%	15.4%	12.7%	28.2%	15.0%	1.9%	16.3%	100%
	人数	269	403	321	750	260	38	215	2,256
	%	11.9%	17.9%	14.2%	33.3%	11.5%	1.7%	9.5%	100%
	H	冊数	221	314	747	872	814	31	618
22 年 度	%	6.0%	8.0%	21.0%	24.0%	23%	1%	17%	100%
	人数	154	203	431	548	331	12	181	1,860
	%	8.0%	11.0%	23.0%	29.0%	18%	1%	10%	100%

2) 文献複写(相互利用)

	平成 23 年度	平成 22 年度
受付件数	69	34
受付枚数	218	92
依頼件数	333	80
依頼枚数	1,258	265

各学部貸出ベス 5 (平成 24 年度)

【鍼灸学部】

順位	書籍名	著者	出版社	I S B N
1	循環器 病気がみえる	医療情報学研究書	Medic Media	9784896323436
2	血液 病気がみえる	医療情報学研究書	Medic Media	9784896322538
3	消化器 病気がみえる	医療情報学研究書	Medic Media	9784896323245
4	呼吸器 病気がみえる	医療情報学研究書	Medic Media	9784896322118
5	運動器 カラー図解人体の正常構造と機能	坂井建雄 他	日本医事新報社	9784784931699

【保健医療学部】

順位	書籍名	著者	出版社	I S B N
1	MRI 断層解剖アトラス 3D で見る骨と筋	坂井建雄 新津守	日本医事新報社	9784784941889
1	肩のリハビリテーションの科学的基礎	鈴川仁人	ナッブ	9784931411791
1	肩関節の MRI 読影ポイントのすべて	佐志隆士 井樋栄二 秋田恵 編集	メジカルビュー社	9784931411791
5	肩関節運動機能障害 何を考え、どう対処するか	嶋田智明 大峯三郎 立花孝編集	文光堂	9784830643668
5	○×トライアル 柔道整復理論・整形外科	竹内義享 編著 大村晋司 編著	医歯薬出版	4263241975
5	柔道整復学 上肢・体幹編 柔道整復師国家試験重要ポイント	竹内義享 小林直行 小川勝	医歯薬出版	9784263242162
5	肩-その機能と臨床	信原克哉	医学書院	4260125869

【看護学部】

順位	書籍名	著者	出版社	I S B N
1	基礎看護技術その手順と根拠	岡崎美智子編著	げがカルプレト社	4839207658
2	パーフェクト看護技術マニュアル 実践力向上をめざして	種池礼子 岡山寧子 中川雅子編集	照林社	4796520848
3	必修問題まんてん GET! 看護師国家試験対策ブック	看護師国家試験対策研究会編	メディカ出版	9784840436878
3	テキスト母性看護	後藤節子 [ほか] 編	名古屋大学出版会	4815805121
5	看護技術ベーシックス	藤野彰子 長谷部佳子監修	医学芸術社	9784870542389
5	New 疾患別看護過程の展開	山口瑞穂子 監修 関口恵子 監修	学習研究社	4051520781
5	ターミナルを生きる 患者と家族のこころを支える看護	秋元典子監修	学習研究社	4051521834
5	看護学生のための疾患別看護過程(ナースングプロセス)よくわかる Book	メジカルフレンド社 編集部編	げがカルプレト社	9784839215620
5	病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程+病態関連図	井上智子 佐藤千史編集	医学書院	9784260006255
5	根拠がわかる基礎看護技術	岡崎美智子 編集 角濱春美 編集	メジカルビュー社	9784839214616
5	母性看護学 実践看護技術学習支援テキスト	小松美穂子 ほか執筆 小松美穂子監修	日本看護協会出版会	4818009946
5	母性看護学	小松美穂子 茅島江子編集	廣川書店	4567587200

【大学院】

順位	書籍名	著者	出版社	I S B N
1	婦人科・乳腺外科疾患ビジュアルブック	角田肇 針原康編集	学研メディカル秀潤社	9784780910353
1	標準麻酔科学 第4版	吉村望 監修 熊澤光生 ほか 編集	医学書院	4260123211
3	婦人科・乳腺外科	医療情報科学研究所 編集	Medic Media	9784896322613
4	標準泌尿器科学 第7版	香川征 編集 赤座英之 編集 折笠精一 監修	医学書院	4260133594
4	標準産科婦人科学	丸尾猛 岡井崇編集	医学書院	9784260130677
4	MRI の読み方 ゼットイわかる	百島祐貴著	医学教育出版社	4871633241